

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	ピアノ調律理論 I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	ピアノ調律理論 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	31回(62単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	ピアノ調律コース、ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器店に勤務後、フリーランスの調律師として活躍中。				
授業概要					
調律師になるために必要な知識(調律理論、構造理論、修理理論、整調理論、音響物理学、音階の歴史)について学ぶ。					
到達目標					
それぞれの理論に対する知識の習得。ピアノ調律技能検定試験に出題されるため、合格を目標とする。					
【前期】 1～2回目	調律について ・調律の定義 ・調律工具の使用方法 ・調律時の基本的な姿勢の取り方 ・打鍵の方法 ・チューニングハンマーの操作方法 ・0点を確認するためのハンマー操作とうなりの聞き方				
【前期】 3～4回目	アップライトピアノの部品とその動き				
【前期】 5～8回目	材料学について ・木材 ・金属 ・繊維 各部品について ・鍵盤 ・フレンジ ・センターピン ・プッシングクロス ・響板 ・響棒 ・フレーム				
【前期】 9～10回目	ピアノ史について ・ピアノの歴史と作曲家を照らし合わせながら、ピアノがどのように変化し、普及していったか それぞれの部品ができた年代や機構の違いなどについても学ぶ。				
【前期】 11回～15回	修理について ・白鍵貼り替え ・鍵盤プッシングクロス交換 ・センターピン交換 ・フレンジプッシングクロス交換 ・張弦				
【後期】 16回～22回	整調について ・調律の定義 ・アップライトピアノの整調(全24工程の工具の使用方法、作業方法を実演と合わせて説明) 第1工程:ネジ締め 第2工程:鍵盤調整 第3工程:センターレール直線調べ 第4工程:打弦距離 第5工程:ハンマー間隔・弦合わせ 第6工程:ウイベン間隔直し 第7工程:から直し 第8工程:キャプスタンボタン調整 第9工程:鍵盤ならし 第10工程:鍵盤間隔直し 第11工程:キャプスタンボタン再度調整 第12工程:バックチェック調整 第13工程:プライドルワイヤー左右調整 第14工程:鍵盤あがき 第15工程:ハンマー接近 第16工程:働き調整 第17工程:ハンマーストップ 第18工程:ジャックストップレール調整 第19工程:ダンパー総上げ 第20工程:スプーン掛け 第21工程:ダンパーストップレール調整 第22工程:ペダル調整 第23工程:プライドルワイヤー前後調整 第24工程:全検査				
【後期】 23～25回目	各部品について ・ピン板 ・ピンブッシュ ・チューニングピン ・ペダル ・支柱 ・打廻し ・駒(ベアリング) ・ピン				
【後期】 26～28回	音響物理学について ・音の定義、音の発生、音波、音の種類(音の分類、楽音の四要素)、倍音、音の性質(聴り、共鳴)について ・理想弦の条件、弦振動、弦振動の性質、打弦点と倍音、ハンマーの硬さと倍音について ・音程の定義、音程の種類、音程比、共通倍音				
【後期】 29～30回	音階の歴史について ・音階の定義 ・音階の種類:ピタゴラス音階、純正調音階、中間音整律、12平均律音階の作成方法と特徴				
【後期】 31回	割り振りについて ・12平均律の作成:4度と5度の聴りの目安など				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	音楽概論 I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	音楽概論 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ調律コース、ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	中学音楽講師として7年勤め、現在フリーランスとして活躍中。				
授業概要					
音程や音階の知識を中心に、調律理論 I と並行した内容を学ぶ。					
到達目標					
調律のスピードや精度の向上。					
授業計画・内容					
【後期】 1～2回目	音名について				
【後期】 3～4回目	調合について				
【後期】 5～6回目	長調について				
【後期】 7～8回目	音階について				
【後期】 9～10回目	反復記号について				
【後期】 11～12回目	音程について				
【後期】 13～14回目	短調について				
【後期】 15～17回目	関係調について				
【後期】 18～20回目	和音 主要三和音について				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	調律実技 I -A		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	調律実技 I -A	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	202回(404単位時間)	年間単位数	13単位
科目設置コース	ピアノ調律コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	中古ピアノ店に15年務め、中古ピアノの調律、整調、修理、運送などに携わり、現在は委託の調律師として活動中。				
授業概要					
実際にピアノを使用して調律する。調律時に必要な音階を演奏する。					
到達目標					
ひとつの鍵盤に張られている最高3本の弦を、ひとつの音にまとめるユニゾン調律の技術を最初に修得し、その後、オクターブ調律・平均律音階を修得し、最終的には1台のピアノを2時間弱で調律する。調律の確認を行うための演奏技術の習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	調律の姿勢、工具の使用方法				
【前期】 6～10回目	外装の取り外し方法				
【前期】 11～50回目	中音・高音・低音ユニゾン調律				
【前期】 51～91回目	中音・高音・低音オクターブ調律				
【前期】 92～101	ピアノ演奏 半音階(完全8度)・半音階(長3度、短3度)・1オクターブ長調音階の指使いの確認、習得				
【後期】 102～120回目	ピッチ採り・割り振り				
【後期】 121～139回目	28C～64C ピッチ採り・割り振り、オクターブ調律、ユニゾン調律				
【後期】 140～158回目	16C～88C ピッチ採り、割り振り、オクターブ調律、ユニゾン調律				
【後期】 159～177回目	一台調律				
【後期】 178～192回目	測定器(YAMAHA PT)を使って測定。調律グラフに沿った調律ができているか確認。				
【後期】 193～202回目	ピアノ演奏 半音階(長6度、短6度)・半音階(完全4度、完全5度)・1オクターブ短調音階・2オクターブ長調音階・2オクターブ短調音階の指使いの確認と習得。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	整調修理実技 I-A		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	整調修理実技 I-A	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	157回(314単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	ピアノ調律コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器店に15年ほど勤め、その後ピアノ調律事務所を独立開業し、現在に至る。				
授業概要					
調律理論 I で学んだ知識をもとに実習(反復練習)を行う。					
到達目標					
よく起こる故障に対し、原因を見定めて正しい修理・整調の技術を修得する。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	鍵盤修理(白鍵上面、鍵盤ブッシングクロス)				
【前期】 21～56回目	センターピン交換・フレンジブッシングクロス交換				
【前期】 57～77回目	張弦				
【後期】 78～94回目	整調の24工程の講義を受けながら、アクションモデルを使用し作業の手順や工具の使い方を覚える。				
【後期】 95～115回目	24工程2回目。割り振られたセクション(低音・中音・高音)作業。				
【後期】 116～136回目	24工程3回目。2回目に割り振られた以外のセクション(低音・中音・高音)作業				
【後期】 137～157回目	24工程4回目。2.3回目に割り振られた以外のセクション(低音・中音・高音)作業。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	ピアノ業界知識 I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	ピアノ業界知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(16単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ピアノ調律コース、ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
楽器業界の企業による製品・技術セミナーやリクルートセミナー					
到達目標					
楽器の専門知識の実践と、実際の応用方法を理解する					
授業計画・内容					
【前期】 1～6回目	就職講座とマナー実技				
【後期】 7～8回目	楽器業界の企業による製品・技術セミナー				
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	販売実習		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則上表記	販売実習	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(16単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ピアノ調律コース、ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
実践的な接客や販売(販売する商品の提案や、当日までの準備、予算内での工夫など)について学ぶ。					
到達目標					
接客や販売の基本的なスキルを身に着ける。					
授業計画・内容					
【後期】 1~8回目	ESP学園主催イベントでの店舗運営について ・販売する商品の提案 ・予算計画 ・販売するための事前準備 ・売上の目標設定 ・接客体験				
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					